

大学入学共通テストが終わりました。

文責 学校長



～コロナ禍の中、224名無事に受験することができました～

1 1・2年生の協力(感染拡大防止)にも感謝します。

1月15日(土)・16日(日)の日程で、2年目となった新制度入試「大学入学共通テスト」が実施され、本校3年生の受験希望者全員が無事に2日間の受験を終えることができました。1・2年生にも「受験生のために」を合言葉に感染拡大防止策にご協力をお願いしてきましたが、皆さんのご協力で校内に感染者を出すことなく共通テスト本番を迎えることができました。ご協力に感謝します。ただ、県内でもまだまだ感染が拡大していますので、引き続き感染防止にご協力をよろしくお願い致します。



テスト前日の直前集会の様子

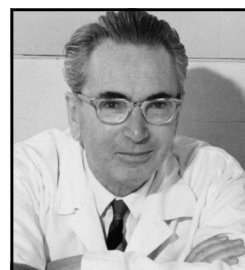
2 男子バスケットボール部九州大会へ。吹奏楽部が金賞に。

1月8日(土)・9日(日)に「佐賀県高校バスケットボール新人大会」の準々決勝、準決勝、そしてベスト4チームによる決勝リーグが行われ、本校男子バスケットボール部が**ベスト4**に入り、3月に行われる九州大会への出場権を手に入れました。また12月26日(日)に開催された「県吹奏楽アンサンブルコンテスト」で**フルート四重奏**のチームが**金賞**に輝きました。



3 今週の名言・・・ヴィクトール・フランクルの言葉です。

どんな時も、人生には意味がある。どんな人のどんな人生であれ、意味がなくなることは決してない。だから私たちは、人生の闘いだけは決して放棄してはいけない。あらゆるものを奪われた人間に残されたたった一つのもの、それは与えられた運命に対して自分の態度を選ぶ自由、自分のあり方を決める自由である。



【解説】フランクルの言葉や思想で重要視されているのが、自分たちにあたえられた運命や環境に対する「態度」です。フランクルは収容所という人間として扱われない想像を絶するような環境で、同じ民族同士争う人もいれば、自分を顧みず他人にパンを分け与える人もいた様々な様相を目の当たりにします。過酷な状況でも、そこでどう生きるかの人間のあり方だけは誰にも奪えないものであると、フランクルは身をもって体験しました。彼はそれを最後の自由と表現し、そして人としての決断の大きさを伝えてくれています。ユダヤ人として生き、理不尽な迫害の中、家族を失う過酷な運命を背負いながらもその人生を受け入れ自由を手にした人。それがヴィクトール・フランクルでした。

【ヴィクトール・フランクルについて】1905年、ウィーンに生まれる。ウィーン大学卒業。在学中よりアドラー、フロイトに師事し、精神医学を学ぶ。第二次世界大戦中、ナチスにより強制収容所に送られた体験を、戦後も『夜と霧』に記す。1955年からウィーン大学教授。人間が存在することの意味への意志を重視し、心理療法に活かすという、実存分析やロゴセラピーと称される独自の理論を展開する。1997年9月歿。著書に『夜と霧』『死と愛』『時代精神の病理学』『精神医学的人間像』『識られざる神』『神経症』(以上、邦訳、みすず書房)『それでも人生にイエスと言う』『宿命を超えて、自己を超えて』『フランクル回想録』『生きる意味』を求めて』『制約されざる人間』『意味への意志』がある。(参考:「Wikipedia」より)

4 今週の故事成語・・・「好事門を出でず」【問題】英語で表現すると?

好事門を出でず悪事千里を行くとは、よいことはなかなか世間に知られず、悪いことの評判はすぐに遠方まで広がってしまうということ。(出典:『北夢瑣言』より)

【由来】宋の孫光憲の『北夢瑣言』にある「好事門を出でず、悪事千里を行く」に基づく。「好事門を出でず」「悪事千里を行く」「悪事千里」のみでも用いられ、「好事門を出でず悪事千里を走る」「好事門を出でず悪事千里に伝わる」ともいう。【対義語】悪事千里を走る

5 入試によく出る漢字(その15)・・・センターテスト(2004年度)の漢字に挑戦!

大学入学共通テストは終わりましたが、二次試験及び1・2年生の漢字学習のためにこのシリーズを続けます。

【問題】傍線部と同じ漢字を含むものを選びなさい。

- (1)「真面目」な聴き方をクチクする。・・・〔①チクイチ報告する。 ②家屋をゾウチクする。 ③チクサン業に従事する。 ④ハチクの勢い。 ⑤チョチクを奨励する。〕
- (2)貧乏しながらケンメイに書き続けた。・・・〔①鉄棒でケンスイをする。 ②生命ホケンに入る。 ③社員をハケンする。 ④ケンシン的に看病する。 ⑤昼夜ケンコウで働く。〕
- (3)自らのカコクな運命に抗して、・・・〔①深山ユウコクに分け入る。 ②図をコクメイに描く。 ③イコクを争う。 ④肉体をコクシする。 ⑤豊かなコクソウ地帯。〕
- (4)センサイな音楽を紡ぎ出している。・・・〔①選手センセイをする。 ②左方向にセンカイする。 ③シンセンな魚介類。 ④ガスのモトセンをしめる。 ⑤食物センイを摂取する。〕
- (5)絶大な効果をハッキする。・・・〔①キジョウの空論。 ②キを一にする。 ③オーケストラをシキする。 ④コッキを掲揚する。 ⑤キに乗じる。〕

6 今週の一冊・・・李琴峰の『彼岸花が咲く島』(文藝春秋社)です。

彼岸花の咲き乱れる砂浜に倒れ、記憶を失っていた少女は、海の向こうから来たので宇実と名付けられた。ノロに憧れる島の少女・游娜と、“女語”を習得している少年・拓慈。そして宇実は、この島の深い歴史に導かれていく。第165回芥川賞受賞作。

(参考：本書裏表紙説明より)

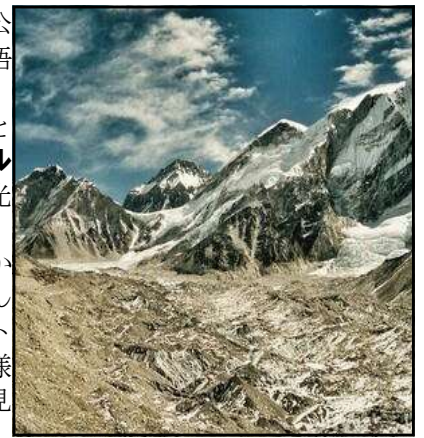
【解説】芥川賞作品にありがちな独特の世界観が描かれています。その現実離れた独特の世界観に読み始めは戸惑う人もいるかもしれませんが、腰を据えてじっくり没入していけば、一種の媚薬のようにいつの間にか引き込まれていく、そんな不思議な魅力をもった作品でした。舞台は架空の島と思われませんが、ジェンダー、家族、セクシュアリティなど、現代社会の抱える問題ともリンクする部分もあり、これまでの男社会に翻弄されてきた女性の苦悩も織り込まれており、決してファンタジーな世界ではなく、過去(歴史)を振り返り、未来の社会のありようを示唆し、未来を拓く希望の物語であるとも言えます、そんな一冊です。図書館にありますので、ご一読を。

【作者・李琴峰について】1989年、台湾生まれ。作家・日中翻訳者。2013年来日。早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了。17年『独り舞』(講談社)(原題「独舞」)で群像新人文学賞優秀作を受賞しデビュー。19年『五つ数えれば三日月が』(文藝春秋)が芥川賞、野間文芸新人賞の候補に。21年『ボラリスが降り注ぐ夜』(筑摩書房)で芸術選奨新人賞受賞。(参考：本書表紙裏の著者紹介文より)

7 世界遺産を巡る・・・第40回はサガルマータ国立公園

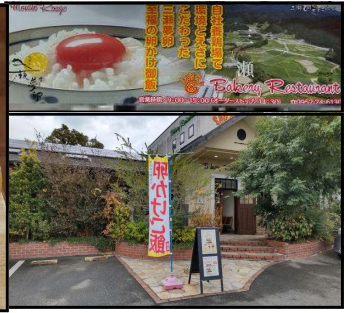
(登録：1979年)

【解説】サガルマータ国立公園は、ネパール北東部に位置する山岳地帯にある国立公園。ユネスコの世界遺産に登録されています。なお、「サガルマータ」とはネパール語でエベレストのことである。世界屈指の高峰が連なるヒマラヤ山脈の中の国立公園です。また、サガルマータ国立公園では珍しい動物や植物が生息していて、動植物の宝庫としても知られています。標高3800m、世界で最もエベレストに近いホテル、**ホテル・エベレスト・ビュー**があります。このホテルは東京に本社を持つ旅行会社、ヒマラヤ観光開発株式会社が所有しています。エベレストを登頂するには5年以上のトレーニング、さらには1000万円を超える費用がかかると言われていますが、首都カトマンズからの遊覧飛行であれば、なんと約2万円でエベレストの山頂を眺めることができます。空港からわずか10分ほどでヒマラヤ山脈が。そして少しすると、エベレストが現れます。飛行機の中からでもわかる衝撃的な高さ、そして山々の気高く美しい様子は、ぜひ一度生で見たいと思います。東京からの場合、最低3連休があれば見に行くことができるそうです。(参考：世界遺産人気ランキングより)



8 街角グルメを訪ねて・・・第40回は佐賀市の「レストラン サークラ」です。

佐賀市のパン屋「ムーランルージュ」が運営しているベーカリーレストランがタマゴかけごはん専門店「レストラン サークラ」としてリニューアルオープンし、至福の卵かけ御飯を出していたので早速行ってみました。大盛御飯に三瀬卵、豚汁に副菜(卵焼き・肉みそ・漬物)がついて480円、卵と別スープ(卵スープ)は食べ放題です。これに茶碗蒸しと絶品のプリンをセットでつけると700円で卵尽くしのメニューになります。この日は卵を4ついただきました。コスパ最高の昼食でした。



9 保護者の皆様へ・・・世間から見てお子様はどちらの側でしょうか？

【好事】①「武雄地区学校警察補導連絡協議会」において、保護司の方から「郵便局前の交差点のところですれ違う武高生が全員元気な声で挨拶してくれて感心した。」や、②御船が丘小学校の先生から「武高の自転車通学生が小学生の登校時に配慮して通行してくれている」とのお褒めの言葉をいただきました。また、③一般の方から「武雄温泉駅で武高生がお年寄りの方の荷物を持って案内してくれていた。」との電話をいただきました。

【悪事】①武雄市図書館の利用者の方からの「武高生がおしゃべりをして騒いでいる。」や「席取りをしたまま他の利用客が使えない状態にしている。」との苦情や、②一般の方からの「武高前の横断歩道で車が停止しても頭も下げる生徒も中にはいるが、多くの生徒が一礼もせず偉そうに渡っている。」などの指摘を受けました。

今週の話事成語にもあるように、好事なことが増えることを期待します。止まってくれた車にも一礼したいですね。

【英語】◇ Ten good turns lie dead and one ill deed report abroad does spread. (十の善行は忘れられ、一の悪行は世に知れ渡る) ◇ Bad news travels fast. (悪い噂は早く伝わる) ◇ Ill news comes too soon. (悪い知らせはすぐにも来る) ◇ Good news goes on crutches. ◇ Good news walk on crutches

【正解】(1) 駆逐〔逐一・増築・畜産・破竹・貯蓄〕(2) 懸命〔懸垂・保険・派遣・献身・兼行〕(3) 過酷〔幽谷・克明・一刻・酷使・穀倉〕(4) 繊細〔宣誓・旋回・新鮮・元栓・繊維〕(5) 發揮〔机上・軌・指揮・国旗・機〕